



すまいる新聞

目次(もくじ)

新年度のご挨拶	1 P- 3 P
新職員紹介	3 P
3月誕生会	4 P
お別れ会	4 P
仲良しコンサート	5 P
退職のご挨拶	5 P
すまいる情報	6 P

『新年度のご挨拶』

センター長[相談支援専門員] 笹崎 明久(ささざき あきひさ)
 昨年度も多くの方々、関係機関の方々に御協力を頂きながら事業を行ってまいりました。たくさんの方に支えられ、新しい年度を迎えることができ、とても感謝しております。昨年を振り返ると、東日本大震災や原発事故など大規模な災害が発生し、日本はこれまでにない、大きな被害を受けました。高根沢町においても多くの被害がありました。そのことを教訓に、すまいるも参加している在宅福祉ネット・町・社会福祉協議会・関係機関と、災害時の要援護者支援について考えてきました。昨年



度は、在宅福祉ネットの一員として、実際に町の防災訓練に参加し、モデルとして要援護者の移送と福祉情報の共有をおこないました。今後も継続して、要援護者の支援体制の構築と、そこから発展させて、発災時だけでなく、普段の生活での地域の見守りネットワークの構築までおこなっていければと思っています。

さて、近年は障がい者施策の大きな転換期を迎えております。平成15年度に支援費制度が施行され、平成18年度には自立支援法が施行され、短い期間での自立支援法のあいつぐ改正がおこなわれています。また来年度には、メディア等で取り上げられている、(仮称)障がい者総合支援法が施行される予定になっています。あいつぐ法の改正等によって、障がい者の地域移行や就労支援、サービスの対象者の拡大などの進展はありますが、地域での障がいを持つ方の生活は豊かになっているのでしょうか。めまぐるしく変わる制度に、生活が左右されていないでしょうか。自立支援法の改正により、平成24年度の改正では障がい福祉サービス利用対象者全員に計画相談をおこうこととなります。障がいを持つ方にとっては、相談支援がきちんと手に届く体制になりますが、しかしながら、地域での生活にはまだまだ多くの課題や不安があるのも現実です。少しでも地域での不安が軽減されればと、在宅福祉ネットや関係機関と連携し業務をおこなってきました。今年度はさらに地域との連携と相談業務の充実のために、すまいるの相談支援部門が町福祉センターに移動します。移動によって、さらなる業務の充実を図っていきます。相談支援の目的は、憲法25条で保障されている、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利ではなく、憲法13条の幸福の追求権と考えています。ですので、地域にただ暮らしているのではなく、地域の一員として夢や希望を持ってそれを実現していけるような支援をおこなっていきたくと思います。



今後も多くの方々や関係機関の方にご協力を頂きながら事業の推進をおこなっていきたく思っておりますので、今後ともご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

主任 児童支援員 阿久津 淑子 (あくつ としこ)

皆様には、新しい年度を迎えられ、ご入学、ご進級おめでとうございます。すまいるでの2名の卒業生、小林知世さん、吉村和弥さんは、4月から、いぶきさん、いっぴぎんで、それぞれ仕事を始めています。また、4名の1年生(南那須特別支援学校1名、高根沢町立北小学校特別支援クラス1名、高根沢町立阿久津小学校特別支援クラス2名)が新しく、すまいるの利用者登録となりました。保育園さん、幼稚園さん等での見学をさせていただき、お友だちと元気に遊んでいる様子や、力一杯制作した作品を見せていただきました。

相談支援部門が4月から福祉センターへ移動となりましたが、学童は変わらず、児童館きのこのもりで活動を行うこととなります。きのこのもりに併設されている中央小学童さんとは、ドッジボール遊びがきっかけとなり、少しずつ繋がりが持てるようになりました。この春休みもお楽しみ会を計画していますので、子どもたちに感想を聞いてみてください。まだ、聞いたことのないお友だちの名前を聞くことが出来るかも知れません。また、昨年度からTMOさんのご厚意により、子どもたちと駅前花壇(宝積寺駅ちよっ蔵前)の整備を始め、季節の花を植えたり、水やりや草取りを行いました。



駅前という立地から駅を利用する方、タクシーの運転手さん、すまいるの高校生は、駅から降りてきた同級生とちょっと挨拶という嬉しい出会いもあり、皆さんからたくさんお声をかけていただきました。ほんの30分程の作業ですが、人とのつながりが実感できる良い社会体験ができました。2月に開催いたしました親の会では、1年間の子どもの活動の様子をスライドに編集したものを見て頂きました。1人1人の表情が生き生きとしていて、たくましささえ感じられます。今年度は、さつまいも掘り(ゆめの畑)を、行って参りたいと思います。苗植え、草取り、子どもたちだけでは手に負えない部分を補い合い、みんなで育てて行きたいと思いますので、よろしくお願いたします。

昨年度は東日本大震災で日本中が大きく変化し、色々なことを考え、人と人との絆を改めて学んだ年でもありました。すまいるにおきましても、子どもたちを中心として、学校、ご近所さんを含めた地域、そして保護者の方とより一層、繋がっていかれたらと思います。職員としまして、子どもたちの成長に負けないよう努力して参りたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いたします。



主任 相談支援専門員 菅間 直子 (すがま なおこ)

今年もすまいるの学童から卒業生を送り出すことができました。卒業を境に、昨日とは違う社会人としての顔を見ることが出来るのは、とても喜ばしいことです。すまいるで会う機会はなくなってしまうかもしれませんが、高根沢町で生活していくことには変わりありませんので、これからも身近な応援者でありたいと思っております。

成長するにあたって、あるいは大人になってからでも、人はそれぞれに色々な壁にぶつかることと思います。しかし、そんなとき力になってくれる人は必ずいるはずで、私も、力になれる一人となるよう、皆様からの力も頂きながら、多くのことを吸収し、そしてそれを発揮しながら頑張っていきます。皆様にとって“身近なすまいる”でありたいと思いますので、今年度もどうぞよろしくお願いたします。



児童支援員 人見 智之 (ひとみ ともゆき)

9年目を迎えた今月より、相談支援事業と就学児デイサービス事業の活動場所が分かれることになり、就学児デイサービスにとっては、新たな活動場所が増えたとも言えます(相談支援の職員に会いに行きながら、社会福祉協議会や町民広場へ遊びに行こうと思っています)。

また、活動させて頂いている児童館において、今後はより一層、児童館の先生方と中央小学童の先生方と連携が増えて、すまいるのお友達以外の子ども達もまき込んだ楽しい活動する機会を得られたと思っています。

何より、社会人として立派に活躍し始めた吉村和弥さんや小林知世さん達に恥じないように、今後遊びに来てくれた時には、一段と成長している「すまいる」になる様、努力して参ります。

新たなスタートを切る私達に、変わらぬご指導ご鞭撻をお願いします。

児童支援員 助川 愛 (すけがわ めぐみ)

寒さの中にも少しずつやわらかな空気を感じ、花粉に苦しみつつも、春の訪れに心が弾む今日この頃です。さて、話は変わりますが、川は流れが止まると淀みます。子どもたちにとって、すまいるがいつでも楽しく、また落ち着ける場所であるよう、どんどん新しく良い事にチャレンジしていきたいです。今年度も、よろしくお願い致します。

～新職員紹介～

コーディネーター 武田 映子 (たけだ えいこ)

すまいる新聞をご覧の皆さんはじめまして、武田映子です♪3月1日からすまいるのコーディネーターとして勤務することになりました。ここでほんの少し私の紹介をさせていただきます。

- ☆生まれ : 宇都宮市(旧河内町) 本当のどかなところですよ。
- ☆好きな食べ物 : 果物、鶏肉(特に唐揚げが好きで毎日のように食べます。)
- ☆6歳になる娘と1つ年下の主人との3人暮らし : 喧嘩が絶えず、尚且つ会話の絶えない3人です。娘が1番頼りになる武田家の主かもしれません。ちなみに、私にそっくりなので笑えます。



約9年間、介護福祉士として老人介護のお仕事をさせて頂きました。障害の分野でのお仕事は初めてとなります。障害について右も左も分からない私ですが、人と関わることが大好きなので、共に悩み、共に考え、共に将来を築いていけるよう、一生懸命働かせて頂きたいと思えます。

新年度の目標としまして、すまいるに来られる方々に私の顔を覚えて頂き、沢山の方に声を掛けていただくこと。また、障害に関しての知識を深め、それを活かしての支援活動が出来るようになる、とさせていただきます。

皆様のご支援・ご指導の下、頑張っていきたいと思えます。

誕生会で伝えたいこと！「将来の夢」と「今年のご目標」



3月の誕生者、篠江和さん（南那須特別支援学校、15歳）と黒内律子さん（同校、16歳）の誕生会を28日に行いました。春休みということもあり、久しぶりに2人に会うお友だちもいて、声をかけたり話をしたりと楽しい交流があった1日でした。

誕生会では、クイズ大会が開かれました。アイドルのことなら、すまいるで1番物知りの和さん。Hey! Say! JUMP（ヘイセイジャンプ）のメンバーの写真をただで、名前前は勿論、誕生日だってスラスラと書けます。そんな和さん

から、みんなへの問題は、「和さんが好きなのはどっち、とちおとめ25、それともHey! Say! JUMP?」。とちおとめ25なんてグループあったかな、Hey! Say! JUMPには確か和さんが好きなメンバーがいたはずだから……。みんな考える時は真剣です。律子さんの出題したクイズは兄弟の人数です。「私は兄弟が4人、それとも60人?」。60人もいたのかな?いつもすまいるへ送迎してくれる、律子さんが大好きな大学生のお兄さんがいましたねー。それで1人でしょう。正解しても外れてしまっても大きな歓声が起こり、クイズ大会は大盛り上がりでした。

この日、鈴木琴絵さんにアンパンマンの絵本を読んであげたり、児童館の来館者と遊んでお母さんからお礼を言われたりと優しいお姉さんのおようだった律子さんが、インタビューで話していた将来の夢は、「看護師さんになること」でした。高校受験を無事終えた和さんは、具体的な目標を掲げました。「今年のご目標は、ハートビックでメダルを取ることです」。スポーツが得意で、素早く走る和さんとの鬼ごっこは、迫力があってみんなも大好きですし、コート内をスピーディーに走り回る和さんの姿も思い浮かびます。

真っ直ぐに前を見つめて話してくれた2人に、参加者からは大きな拍手が送られました。

長い間すまいるを支えてくれて、ありがとう！

すまいる開所時から利用している、小林知世さんと吉村和弥さんの“お別れ会”を、先月26日に行いました。

ガストでの食事会では、子ども達・職員共に、和気満々とした雰囲気の中で、楽しく会食出来ました。和弥さんや知世さんからは、機会があれば職場に来て欲しい事や、2人の職場について皆に話してきていました。お別れ会では、子ども達一人一人から、今までお世話になったお礼や、お仕事を頑張って欲しいとの応援する言葉が、沢山送られました。そして、すまいるでの思い出が全部詰まった「卒業アルバム」を渡した時、とても喜んだ様子ですぐにページを捲っていて、嬉しく思いました。



お別れ会は、知世さんと和弥さんのために企画していましたが、知世さんは密かに、ある人の“卒業証書”を作成して持参していました。それは、6年間勤務して共に卒業する、職員の青木さんの為に、サプライズを考えていました。子ども達には、事前に内緒で伝えていて、皆で青木さんの卒業式も行うことが出来ました。卒業生達の、新しい場所での活躍を願っています。

なかよしコンサート♪舞台裏に潜入♪

3月3日(土)、児童館きのこのもり主催の“なかよしコンサート”に、今年も参加させていただきました。すまいるの演目ですが、まず一曲目は「勇氣100%」を歌いました。ソロのパートもあり、一人一人が主役となり、堂々と歌ってくれました。2曲目は、「ゆめのタネ」のダンスです。皆が大好き!明るく前向きなこの曲に合わせて、元気いっぱいに踊りました。会場も、盛り上がっていましたね。さて今回は、その舞台裏をご紹介します。

① 子どもたちと職員が意見を出し合って

1曲目の歌は大成功でしたが、当初は心配もありました。皆が主役になれるソロパート。子どもたちがステージ上を歩き、ポーズを決めるように歌う…格好よくもあり、少し難しいのではという気持ちもありました。そこで、子どもたちの意見を聞いてみました。子どもたちはノリノリで、まずはやってみようという事に。すると、「歌い出しの場所はこの辺ですか?」「全員、マイクを持ったほうがいいのかも!」と、どんどん意見が。何より、楽しいということで、今回のような形に決定しました。



② 高等部3年生たちの創作ダンス

2曲目のダンスは、創作ダンスです。小林知世さん、吉村和弥さんが、1年以上前から、「曲は何にするか?」「振り付けは、どうすれば見栄えよく、なおかつ、皆が踊りやすいか?」等、話し合いながら、作ったものです。自分たちの作ったダンスを、仲間と一緒に踊り、披露させていただく…とても嬉しく貴重な体験になったようです。



③ ボランティアの方々、児童館の先生の応援

練習にあたっては、ボランティアに来てくださった町内のお姉さんや、児童館の先生方に、大変お世話になりました。おかげで、練習の意欲も高まっていました。また、コンサート当日は、送迎ボランティアの方々・陶芸を教えて下さった先生・練習を手伝って下さったお姉さんが駆けつけてくれました。皆様の温かい応援が、子どもたちの励みになっているのだと、楽しそうに歌ったり踊ったりする姿を見ながら、改めて感じました。本当にありがとうございました。

～退職のご挨拶～

この度、6年間勤めたすまいるを退職することになりました。障害者と地域とを結ぶ役割を果たすことが出来たのか甚だ不安ではありますが、高根沢という地を少しでも耕すことが出来たのではないかと考えております。これから沢山の種を播き、育て、“障害者の笑顔”を咲かせることを共に歩むことはできませんが、新たな仲間も加わり“新生すまいる”が動き出します。すまいるの子供達の成長を見守り続けることが出来ずに大変申し訳なく思っております。最後になりましたが、すまいる在職中は多大なるご指導を頂き感謝の念に尽きません。今後とも、すまいるに変わらぬ御厚誼のほど、心からお願い申し上げます。

青木 秀子(あおき ひでこ)

3月の主な活動

- 1日 さくら市子育て支援事業
2, 9, 16, 23, 30日 フリースペース
(チャレンジ・ステップアップ)
3日 なかよしコンサート
6日 フリースペース会議
6, 13, 27日 フリースペースゆめ
8日 フリースペース那須
りんごグループ教室
13日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
14日 塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
避難訓練
21日 さくら市障害程度区分認定審査会
地域ケア会議, さくら市子育て支援事業
23日 りんごグループ教室

4月の主な活動予定

- 3日 フリースペース会議
3, 10, 17, 24日 フリースペースゆめ
6, 13, 20, 27日 フリースペース
(チャレンジ・ステップアップ)
11日 塩谷地区障害者相談支援専門員
連絡会
12, 26日 ひだまりふぁんの会(さくら市)
16日 研修検討部会
17日 ひだまりふぁんの会(高根沢町)

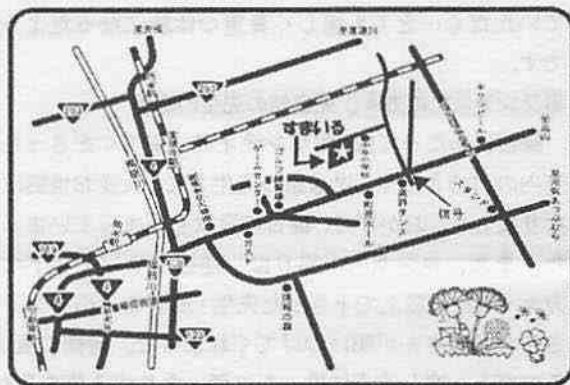


平成24年3月「障害児者生活支援センター すまいる」利用状況

○就学児デイサービス事業118人
(内訳) 阿久津小14人、のざわ36人
南那須66人、宇大付属2人



＜編集後記＞新年度に入り、進学等で新生活を迎える方、進級で学年が上がり、気持ちを新たに頑張ろうとする方がおられると思います。これから色々予定が入り、スケジュールを立てると思います。その時、余り詰め込み過ぎる事なく、一日のどこかに余白を空けておくのが、大事な様です。また、一週間の大切な用事を、順番に別々書いておくと、上手に生活が送れるようです(人)。



第96号(4月号) 平成24年4月11日 発行

【編集】 高根沢町障害児者生活支援センター すまいる
〒329-1225 栃木県塩谷郡高根沢町石末2247-2
Tel 028-675-2163 FAX 028-675-2274
E-mail: t-kinoko@bird.ocn.ne.jp (お問い合わせはこちらへ...)
【発行】 特定非営利活動法人 とちぎ障害者労働自立センター ゆめ
〒329-1231 栃木県塩谷郡高根沢町石台1-1-14
Tel/FAX 028-675-7771